

国分寺市議会 3月定例会

2月22日(木)～3月25日(月)

ぜひ市役所まで傍聴へお越しください。
オンライン配信もあります。

2月25日(日)は「日曜議会」です。平日開催の
議会に来られない方も、ぜひお気軽にどうぞ。

みんなで行こう！

第19回 国分寺市環境シンポジウム 「気候の危機をどう受け止めるか」

江守 正多さん(東京大学・国立環境研究所)

2024年2月18日(日) 13時30分開演(13時開場)
リオンホール(国分寺駅直cocobunji WEST 5階)

お申し込みはこちらから →



Chihiro's Diary



10月 姉妹都市の佐渡へ視察。トキと環境にやさしい農業を学ぶ。



11月 PFASの勉強会で国分寺の現状を報告。



12月 「こくぶんじスパイス」の発表会。



1月 「ガザに平和を」スタンディングデモ。

■鈴木ちひろ プロフィール

1996年神奈川県藤沢市生まれ。日本語教師として赴任した奄美大島で環境問題に関心を持つ。有機農業の仲間から国分寺のオーガニックカフェ「カフェスロー」を紹介され、働くことに。都市農業や湧水、地域通貨がある国分寺に惹かれて移住。同カフェスタッフ、重度障がい介護ヘルパーを細々と続けながら、新人議員として奮闘中。関心テーマは気候危機とジェンダー。お祭りや漫画が好き。



<https://www.chihirokokubunji.com/>

国分寺市議会議員

鈴木 ちひろ

もっと！
人に寄りそう
グリーンな国分寺へ

27歳
無所属



2024年2月号 グリーンな国分寺ニュース vol.6

このニュースはグリーンな国分寺サポーターの手作りです。

能登半島地震に想いをよせて

亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されている方々にお見舞い申し上げます。過酷な避難生活を想うと胸が痛みます。また、地震の多い日本で原発ゼロへの想いをいっそう強くしました。国分寺からどのように行動できるかを皆さんとともに考えていきたいと思います。2024年どうぞよろしくお願いたします。

市に求めたい！（議会で質問）

録画配信はこちら ▶



1 もっと市民のための新庁舎を

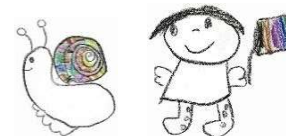
公共施設なのにキッズスペースを設置しないことが判明。「ないと周りの目を気にしてしまう」「待ち時間に飽きてしまう」「靴をぬいでゆったりできる場所がほしい」など、子育て当事者のリアルな声を無視せず再検討すべき。「市民と一緒につくる」「市民のための」新庁舎を。

2 ジェンダー平等を当たり前

従来の性教育では、人権教育が不十分。学校で包括的性教育を推進すべき。パートナーシップ制度を、トランスジェンダーや事実婚、在学・在勤市民も使えるように。同性カップルが賃貸住宅の入居を拒まれないよう、LGBTQ+フレンドリーな不動産を認証する制度をつくってほしい。

3 PFAS対策の前進を

PFAS水汚染による健康被害が明らかになっている。「国分寺市公害防止条例」に基づいて、専門家、医師、農業者、商工会などをまじえた「公害対策協議会」を設置し、問題把握や対策についてそれぞれの立場から意見交換しあい、PFAS問題解決のために取り組むべきではないか。



みなさんのお話をきかせてください

議会報告キャラバン

1月30日(火) 19～21時
@ひかりプラザ 会議室

2月4日(日) 14～16時
@本多公民館 和室2

2月6日(火) 19～21時
@並木公民館 小会議室

「上記の日程以外なら行ける」
「手話通訳がほしい」
などお気軽にお問い合わせください。

お申し込み

申し込みフォーム →
メール ↓



chihirosuzuki311@gmail.com

(お名前とご連絡先を
明記してください)

ジェンダー
平等

気候正義

差別・戦争
反対

地域主権

若者の声

■SNSでつながろう！

鈴木ちひろ 国分寺 で検索！

■連絡先

・住所 : 国分寺市戸倉1-6-1
国分寺市役所第1庁舎 グリーンな国分寺控室
・メール :

chihirosuzuki311@gmail.com

知っておきたい

こくぶんじトピックス

★ 7万円の給付金

4月30日までの申し込みで、住民税非課税世帯に7万円の給付があります。



★ 能登半島地震の義援金

市役所、cocobunji市民サービスコーナー、国立駅前市民サービスコーナーで募金箱が設置されています。



★ 家庭用防災用品が半額補助

簡易トイレ、防災セット、ソーラー発電の充電器など、日頃から防災グッズを使ってみませんか。



★ 自転車用ヘルメット2,000円補助

2023年からヘルメット着用は努力義務。安全でエコな自転車ライフを楽しみましょう。



① 物価高のなか 国民健康保険の 値上げ・・・

市は国保の値上げを決定しました。国保は所得が少ない非正規労働者や中高齢者、さまざまな事情で働けない人が多いのに、保険料が高いという構造的な問題があります。負担が大きくなることで、市の魅力でもある小規模の個人商店や、フリーランスで働く人にも打撃を与えてしまいます。さらに、国分寺のまちづくりにチャレンジしたい未来を担う若者たちの機会を奪うことになりかねません。他の保険制度とは異なり、セーフティネットとしての役割が強いからこそ、値上げをして国保の加入者同士で支える「共助」ではなく、もっと公的な支えが必要ではないでしょうか。「市民の健康と暮らしを守る」という本来の役割を果たすべく、

引き続き値上げを抑える努力を求めます。

②「脱プラ」施策なしで プラごみ袋の有料化？

これまで無料回収されてきた資源プラスチックが6月から有料になります。私は、気候危機の観点から、ごみ袋有料化に反対ではありません。むしろ、2020年のレジ袋有料化をきっかけに多くの人がマイバッグを持参するようになり、有料化はプラごみ削減に効果的です。

しかし、小売店でのプラフリー商品の拡充、飲食店でのテイクアウト容器の持参推奨、イベント等でのリユース容器を使用する等、有料化に踏み切る前に市が取り組むべき脱プラスチックの抜本的な施策がまだまだ不十分です。使い捨てプラを減らす、なくす取り組みが早急に必要です。市が率先し、脱プラスチックに取り組みない限り、市民の負担が増えてしまうだけではないでしょうか。

ちひろが反対した 3つの議案

- ①国保の値上げ
- ②プラごみ袋有料化
- ③市長のボーナス増

録画配信はこちら →



③ 特別職の ボーナスアップ

市長 副市長 教育長の期末手当(※市長：約491万↓約502万)の引き上げが決定しました。当初は2023年12月のボーナスを引き上げる議案でしたが、議員からの



12月議会の一一般質問



賛否両論があり、結局今年6月からとなりました。物価高で依然として市民の生活は厳しい状況です。特別職のボーナスの引き上げは市民感覚からすると納得できるものではありません。